

④ 内分泌疾患（甲状腺機能低下症）

甲 号証	標 目	原本・ 写し	作成年月日	作成者・発行社	要 点
33	獣医5分間コンサルト (抜粋) p726～727 甲状腺機能 低下症	写し	H13. 9. 25	監修:長谷川篤彦 (株)学窓社発行	チロキシン(テトラヨードサイロニン“T4”およびトリヨードサイロニン“T3”)の欠乏により、体のほとんどの組織で細胞の代謝低下を生じる。去勢には高い危険性を伴う可能性がある。定期的にT4濃度を査定しながら、合成レボチロキシンナトリウムの投与を終生にわたり続ける必要がある。適切な投薬が行なわれている場合の予後は良好で、予想寿命は正常である。
44	スモールアニマル・イ ンターナルメディスン (抜粋) p13～16 心電図所 見	写し	H17. 3. 25	監訳:長谷川篤彦、 辻本元 (株)インターズー発 行	甲状腺機能低下症では、振幅が小さいQRSが発生する。
79	小動物の心臓病学 基 礎と臨床 (抜粋) p671～673 甲状腺 の機能不全	写し	H15. 11. 10	監訳:局博一、 若尾義人 (株)インターズー発 行	甲状腺ホルモン(T3、T4)は、多くの組織に影響をもたらす。甲状腺機能低下症の異常の多くは甲状腺ホルモン補充により好転し、心電図の変化がみられる。